

～ 第1章 時制 ～

頻出編

1. 注意すべき現在・過去時制

解答と訳例

- ②「水は0℃で凍ると先生が教えてくれた」
- ③「水は100℃まで温めたら沸騰するものだ」
- ③ **ate** → **eat** 「昼食をとったあとにこの薬を飲んで下さい」
- ③「明日は何かいいことが起こりそう。そんな気がしない?」
- ④「たとえばアインシュタインは1905年に特殊相対性理論を提案したが、核技術はこの理論に基づいているが第二次世界大戦がほぼ終わる頃になってはじめて開発された」

解説

- 不変の真理は現在形で 解法キーは **that** 節の内容。「不変の真理」や「法」なので、時制の一致の制約を受けず常に現在形で表し、正解は② **freezes**。時制の一致のルールからすると、**that** 節中の動詞は過去形になるが、ここでは①を選ばないように気をつけよう。
- 現在形は抽象的な内容を、現在進行形は具体的な内容を表す 解法キーは水が100℃で沸騰するという内容が物理的性質であること。これは抽象的な内容なので現在形で表すのが定番だが、選択肢に現在形がないので「同じ現在だから」と現在進行形を使わないよう注意してほしい。知っておくべきことは、時制にかかわらず進行形にすると内容が具体的になるということ。

例) The water **in this kettle** is now boiling.

(このやかんの水は沸騰している)

*沸騰しているのは目の前にある特定のやかん

ここでは、**will** も「習性」や「物理的性質」を表すことを知っていなければならない。正解は③ **will boil**。

例) Accident **will happen**. (事故は起こるものだ)

- 副詞節では未来の内容を現在形を使って表そう 解法キーは、**after** がいつ薬

なぜ「土曜日なのか」

土曜日は「ゆとり教育」によって、何か特別な時間に突然なったようです。毎日のスケジュールをこなす月～金曜日とも異なり、勉強からの完全な解放を意味する日曜日とも違う時となったのではないのでしょうか。

この時間を使って文字通り「ゆとり」を追求したり、人生の幅を広げるためにボランティアやアルバイト、家の手伝いをしたり、それぞれ思い思いに、この「土曜日」を過ごしていると思います。

しかし、敢えてこの時間で学力を伸ばしたいと思っている方々のためにその道具を提供したいと考えました。それがこの土曜日シリーズです。大切なことは「土曜日」は時間に追われる他の曜日とは異なり、「自分で、何をどのように」学習するか、決めることができる日だということです。読者のみなさんが自分のためにはっきりとした目標をもちながら、土曜日のわずかな時間を計画的に使って自分のペースで学習するための道具が必要だと考え、企画、編集いたしました。

このエアポケットのような時間を上手に、自分なりに使ってみてください。1日15分でもいいし、8時間でもいいのです。人に決められたスケジュールではなくて、自分のペースでかかわれるよう編集されていることこそが、この土曜日シリーズの大きな特色なのです。

「土曜日シリーズ」とは言っていますが、「自由にできる時間、つまり心理的、物理的に空白の時間」であれば、水曜日でも、日曜日でも構いません。私達のねらいは、自らの意志で、自らが計画者となり、自らのペースで学習していってもらうことだからです。

● ● ● 目 次 ● ● ●

第1章 時制

頻出編

1 注意すべき現在・過去時制	10
2 進行形	11
3 完了形	12
4 助動詞	13
5 仮定法	14

難問編

四択問題	18
整序英作文	20
条件英作文	23
正誤問題	24

第2章 動詞の用法

頻出編

1 自動詞と他動詞	28
2 第1～第4文型	29
3 第5文型	30

難問編

四択問題	34
整序英作文	36
条件英作文	39
正誤問題	40

第3章 関係詞

頻出編

1 関係代名詞（非制限用法を含む）	44
2 前置詞＋関係代名詞	45
3 that の用法	46
4 what とその他の関係代名詞	47

5	関係副詞と関係代名詞	48
6	その他の用法とちょっと注意すべき問題	49

難問編

四択問題	52
整序英作文	55
条件英作文	58
正誤問題	59

第4章 関係詞と接続詞、疑問詞

頻出編

1	複合関係詞	62
2	接続詞	64
3	疑問詞	66

難問編

四択問題	70
整序英作文	72
条件英作文	75
正誤問題	76

(参考)

助動詞の頻出ポイント	26
Cの形がねらわれる第5文型の動詞	42
覚えておいてほしい仮定法の表現	60

◆◆ シリーズの内容 ◆◆

英文法筋力エクササイズ パターンプラクティスで基本を習得

BOOK1 動詞と文型、完了形、受動態、仮定法、準動詞(1)

BOOK2 準動詞(2)、関係詞、比較、特殊構文

英文法入試実践力エクササイズ 頻出で得点しにくい入試問題を制覇

BOOK3 時制、関係詞、接続詞

解法キーをテクニカルに使いこなせば簡単に問題が解けるようになる論理構造がはっきりした分野

BOOK4 準動詞、注意すべき構文(比較など)、語順

論理と暗記の両方必要とされる項目